

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	理科 地学基礎	単位数	2 単位	履修学年	1 年
目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
使用教材	教科書…地学基礎（啓林館）				
評価の観点・評価規準	（関心・意欲・態度）	（思考・判断・表現）	（観察・実験の技能）	（知識・理解）	
	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業では自然に対する見方や関心意欲を見るとともに、現象について理解し知識を身につけたかを見る。 ・観察・スケッチでは、技術の適切さと結果から得られたものを的確に表現できるかを見る。 ・データ処理では、得られた結果を分析し、1つの自然現象について総合的判断が下せるかを見る。 ・実習では、自然現象について原理・法則を理解し、それに基づいて実験・観察が意欲を持ってできるかを見る。 ・定期考査では、それぞれの期間に行った授業・観察・データ処理・実習などを理解し、身につけているかを見るとともに、学習した自然現象について総合的に考え、判断できるかを見る。 				
学期	学習内容		学習のねらい		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の概観 ・地球の内部構造 ・活動する地球 ・地層と地質構造 		<ul style="list-style-type: none"> ・地球の表面地形や形を確認する。 ・地球の内部構造を知り、プレートの動きと地震との関係を考える。 ・火山の活動と火山の分布を地形と関連づける。 ・地層と地質構造、およびその形成過程を考え、実際の地層断面から形成された順序を推定する。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地球と生命の進化 ・大気の構造 ・太陽放射と大気・海水の運動 ・日本で見られる季節の気象 		<ul style="list-style-type: none"> ・地球誕生から現在までの進化の様子と生命が誕生する可能性のある事柄を探る。 ・大気の層構造を知り、地球上での大気の大循環について学ぶ。 ・太陽放射と地球放射、および温室効果によって地球の熱収支はつり合っていることを知り、エネルギー収支について一部が算出できるようにする。 ・日本の気象現象を季節ごとに調べて、大気の流れと関連づける。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の天体 ・太陽系の誕生と進化 ・銀河系と宇宙 ・地球環境と人類 		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の惑星と特徴を知り、地球に生命が存在できる条件をまとめる。 ・太陽のしくみと活動を知り、太陽が与える影響について考える。 ・様々なデータから、宇宙の姿がどのようになっているのかを推定する。 ・地球上で発生する火山の噴火や地震、気象災害に対し、どのように対応したらよいかを考える。 ・地球上の自然環境保護のためにどのような対策をとったらよいかを考える。 		
学習上の留意点	地学基礎は、地球、地層、岩石、地震、大気、気象、天体などの基礎的な内容を学習する科目であり、中学校の理科第2分野のうち地学分野を引き継ぐものです。観察やデータ処理などの実習もあるので、極力、欠席しないようにすることが大切です。				